

地域おこし協力隊を 紹介します

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行する地域に都市部の人材を受け入れ、地域協力活動を行うことで、地域の活性化を図る制度です。

現在6名の隊員が、町をより一層活性化させるための活動を行っています。今回は、活動中の隊員とそれぞれが思い描く町の将来像について紹介します。



【農業分野】
安達 智弘 (R3.7.1 着任)

農産物で有名な町にしたいです。まずは城里町の特産物をさまざまな方に知ってもらいたいです。



【農業分野】
上間 和樹 (R3.10.1 着任)

城里町の子もたちが誇れる町にしたいので、まずは農家として自立していけるよう頑張ります。



【農業分野】
一丸 大地 (R4.3.1 着任)

耕作放棄地の少ない景観のよい町にしたいです。



【農業分野】
高浦 千明 (R4.4.1 着任)

子どもたちがたくさんの人と交流できて、さまざまな体験が得られるように老若男女、町内外問わず、多くの人々が楽しく関われる町にしたいです。



【農業分野】
高浦 倫子 (R4.4.1 着任)

住んでいる方はもちろんですが、町外から来た方にも、もう一度行きたいと思ってもらえる活気ある町創りに微力ながら貢献していきたいです。



【健康増進分野】
大内 舜也 (R1.4.1 着任)

自分が経験してきたことを活かして城里町の魅力を引き出し、若さと笑顔でお子さんからお年寄りの方まで元気あふれる町にしていきたいです。

「城里町協力隊農園」を開設しました

6月14日(火)、未使用の町所有地を活用して「城里町協力隊農園」を開設し、サツマイモの定植を行いました。協力隊全員で農地の維持管理をしながら、今後は農業体験や食育活動等の実施も検討しています。



問合せ <農業分野> 農業政策課 ☎029-288-3111 (内線253)
<健康増進分野> まちづくり戦略課 ☎029-288-3111 (内線228)